

## 2014年度 第3回 番組審議会 議事録

### I. 開催概要

2014年11月17日(水) 15時30分～16時15分 キッズステーション本社会議室

### II. 出席者

#### 1. 審議委員 : 7名

宮下友美恵(学校法人静岡豊田学園 静岡豊田幼稚園 園長)  
斎藤汎司(コンテンツビジネス、契約アドバイザー)  
副島恒次(演出家・スーパーバイザー:バウ・スプリット株式会社インストラクター)  
田口成光(脚本家・放送作家)  
菅谷 実(慶應義塾大学教授 政策・メディア研究科委員)  
北風祐子(株式会社電通 電通総研 ママラボ所長)  
高芝 利仁(高芝法律事務所 弁護士)

[順不同;敬称略]

#### 2. 事業者側 : 6名

[経営] 宮内康行(代表取締役社長CEO)、北折尚志(取締役COO)  
[編成] 坂本直紀(編成部長)、櫛原文雄(編成部員)  
[事務局] 飯野博之(経営企画室長兼広報室長)、沼生祐介(広報室員)

### III. 議事内容

#### 1. 社長挨拶 株式会社キッズステーション 代表取締役社長CEO 宮内康行

第3回の番組審議会にお集まり頂き、ありがとうございます。今回ご審議頂く「怪盗ジョーカー」は、安心してご覧いただけて、非常に楽しめる番組です。ご審議のほどよろしくお願い致します。

#### 2. 番組審議 司会進行:宮下友美恵 委員長

##### 1) 対象番組:「怪盗ジョーカー」

##### ① 番組説明

- タイトル : 「怪盗ジョーカー」に関する資料を事前配布
- 放送日時: 2014年10月26日(日)朝7時～7時30分、以降毎週日曜日朝7時～7時30分
- 主要対象: 小学生、ファミリー
- 放送尺 : 30分(HD)
- 作品紹介

<概要>ただ、盗むだけじゃない。華麗に欺き・奇跡を起こす神出鬼没の怪盗・ジョーカー。

世界中を飛びまわり、立ち足かかる執拗な警部や敵たちの罠を潜り抜け、華麗なトリックで次々と名画やお宝を盗み出せ!! 相棒のハチ、ライバルのスピード&クイーンと共に巻き起こす、ドキドキ、ハラハラ、予測不可能なトリックやアクション満載のストーリー。

②合評：委：番組審議委員／局：キッズステーション

局：「怪盗ジョーカー」は小学館様より発行されている小学生向けコミック月刊誌「コロコロコミック」に長きに亘り連載されているマンガであり、満を持して10月からアニメ化となった。

最近のヒット作品がおもちゃやゲーム原作のアニメが多い中、本作品は「コロコロコミック」のマンガをオリジナル原作としており、マンガのアニメ化という王道の作品になっている。

「コロコロコミック」の編集部の方からも気合の入った展開をしたいと伺っており、当社としても賛同し出資したアニメである。

内容としては、主人公はジョーカーという怪盗であり、様々なアイテムを使い、怪盗として活躍するコメディ作品。ライバルがいたり、仲間がいたり、王道の子ども向けアニメ作品として仕上がっている。

従来と少し異なっているのは、地上波のネットワークで日本全国放送されるものが多い中、「怪盗ジョーカー」については東京MX様に関東圏の地上波ネットワークをカバーして頂き、キッズステーションでは関東圏を含めた全国での放送となる。これまでのアニメ初放送の仕方としては新しい形態であり、我々としてもプロモーション含め頑張っていきたい作品である。ご審議よろしくお願ひ致します。

委：アニメになって動きがあるので原作より面白くなっていると思う。色のついたバブルガムの設定が面白く、物語に変化を与えている。強いて言えば、泥棒物なので、怪盗にポリシーがあれば更に良いと思う。第1話ではハチの村の宝物が盗まれ取り返すというものであるが、怪盗ジョーカーに盗む目的があると良いと思う。

委：今後の物語を制作していくにあって活かして頂けるのでしょうか？

局：コンセプトとしてただ盗むのではなく、仲間たちと協力しながら怪盗として華麗に活躍していくわけであるが、コンセプトは今後も守っていく。

委：原作にはないと思うが、面白い仕掛けとして作品の中で一時停止や巻き戻しがあり、これは非常に面白いと思った。また、上手くできている。キッズステーションではないが、ニコニコ動画でも配信されているようだが、感想に昭和風だというのがあり、言われてみれば昭和風にも見れるが、配色が紫(マントの表地)や青系統の色使いが多く、そこから来ているのかとは思いますが。

委：あっちむいてホイとかジャンケンしてチ・ヨ・コ・レ・ー・トが出てきて、まさに昭和の遊びかとは思いますが、原作者の世代はどのくらいなのか？

局：世代には関係なく、そのような遊びは今でも続いている。

委：そのような昭和の遊び、味を懐かしむ世代も含め視聴しており、制作側はわかってやっている気がする。

局：キャラクターのデザイン、原色の使い方などあえて少し前のトーンを意識しているようには感じる。わかりやすく作っており、アニメ制作側の気遣いが伺える。

委：監督は女性か？ 女性がつくるとどう違ってくるのか興味はある。

局：監督は女性である。

委:放送時間で日曜日の朝7時はどうなのか？

局:「コロコロアワー」という枠を設けて、「コロコロコミック」に関連するアニメをまとめて放送する時間としている。妖怪ウォッチ、ポケットモンスター等も放送しており、多くの子どもたちに視聴頂いている。それ以外の枠では火曜日夜7時にリピート放送している。

委:子どもなりに、見ていて面白い、ハラハラする要素の前提として登場人物の考えとか感性とかが描かれていないのはどうなのかなどは思う。なぜ盗むのかということと共有しないとより共感を得ることが難しいのでは？と思う。登場人物のこだわりを描かないと感情移入は難しいのではないか。

局:制作側としても良いものをつくりたいという意気込みで制作されているので、今後も良い形になっていくと思う。

委:ジョーカーについては、今時の人気のある小学生男子のような気がする、ガツガツし過ぎず、クールな感じとか。

この子に影があったり裏の物語があったり、ひとひねりがあると更に面白くなると思った。

一方で、安心して見られる作品であると思う。

局:単純な昔ながらのギャグやコメディが反映されており、一方で、今風の要素やアニメならではのものも入っているが、シンプルな子ども向けのギャグマンガである。

委:奇想天外な部分が面白いと感じた。ハチのうるうるした目にもキュンとできる。

局:女性にもファンが多い作品である。

委:ロイヤルストレートフラッシュの技を使う時の明滅表現は大丈夫か？ また、表現上の固有名詞等も大丈夫か？

局:明滅は基準に沿ったものであり、表現は制作側で確認されている。

### **3.報告事項**

次回の番組審議会は、2015年2月23日(月) 15時30分からですので、お間違いのないようお願いいたします。

以 上